

社団法人 町田法人会報

社団法人設立 記念特集号 第1号 (通刊29号)
創立30周年





社 団 法 人 設 立 許 可 書

東 局 許 可 第 2 5 号

昭 和 5 5 年 8 月 2 日

社 団 法 人 町 田 法 人 会

設 立 代 表 者 三 橋 忠 正 殿

東 京 国 税 局 長 官 下 鑑 印



昭 和 5 5 年 8 月 / / 日 付 で 申 請 の あ つ た 社 団 法 人 町 田 法 人 会
の 設 立 は、民 法 第 3 4 条 の 規 定 に よ り 許 可 す る。

— 記念特集号 目次 —

社団法人設立許可証	表紙裏
設立許可書授与式	3
記念式典厳粛に挙行	4
会長式辞	5
経過報告	6
来賓祝辞	7～10
式典スナップ	11
町田法人会のあゆみ	12
祝賀会盛大に開催	13
祝賀会スナップ	14～15
町田税務署新庁舎案内図	16
〃 配席図	17
東京税理士会町田支部会員名簿	18～19
町田市各施設の所在地	20～21
編集後記	22

題字は西別府町田税務署長

社団法人 町田法人会

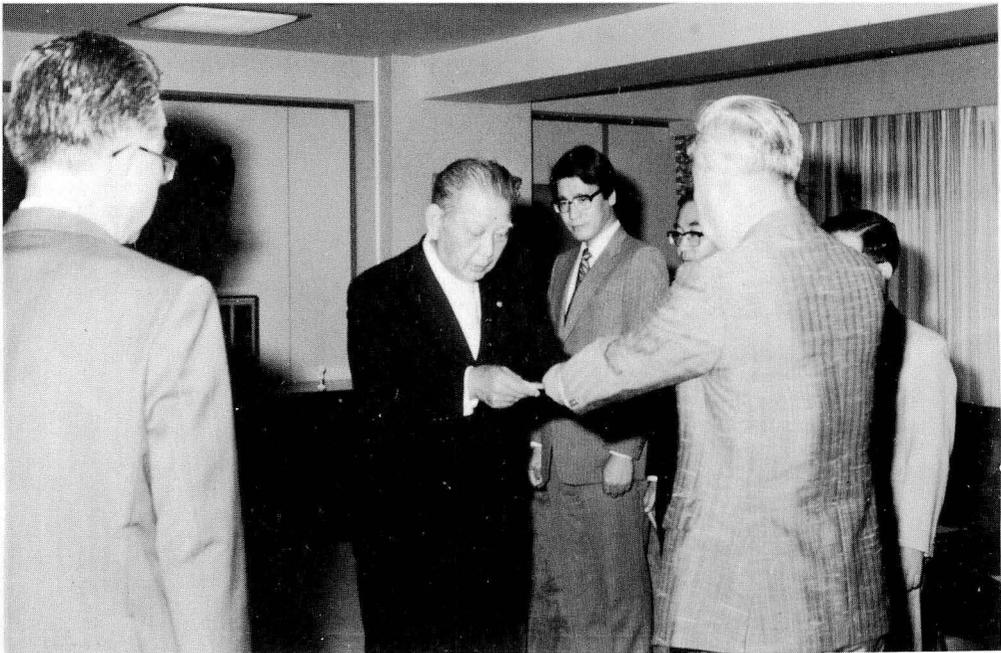
設立許可となる

8月11日付にて、東京国税局へ申請をした社団法人町田法人会の設立については、8月21日付をもって設立許可となりました。

8月25日東京国税局長室において、東京国税局幹部・町田税務署長並びに当会よりは三橋忠正会長及び石井・鈴木両副会長参列のもとに、設立許可書の授与式が執り行われました。

宮下鐵巳東京国税局長より三橋忠正会長に対して設立許可書が授与されました。

ここにおいて本会は永年の念願でありました民法第34条に定められた公益法人となり東法連傘下46番目の社団法人として新たなるスタートをすることになりました。



東京国税局長室にて宮下鐵巳局長より三橋会長に許可書が授与される

社団法人町田法人会設立 町田法人会創立30周年

記念式典

厳粛かつ盛大に挙行される

〈於・町田小田急特設会場〉

菊花かおる今日、このよき日私達が多年の要望でありました社団法人町田法人会設立が認められ、公益法人として社会的地位が一段と向上したわけであります。

このようなときに先輩諸兄の営々30年のご尽力により、めでたく社団法人設立の念願が達成し、30周年記念式典をあわせて挙行できましたことは往時を顧りみて唯感無量のものがあります。

ご承知のように町田市は環境の良好、交通網の発達により、住宅地並びに商工業適地として近年市民の関心を集め人口は年と共に急激に上昇し活況とみに加わっております。

この時に当り町田市が大きく生れ変わる世紀の都市計画の大事業の実施が第一段階を終了し名実共に明るくしかも近代的様式を完備した駅施設を始めとした町田市の表玄関が完成したことは躍進途上にある市勢の前途また洋々たるものがあります。元来新開地の通弊はともすればその膨張に施策の伴わぬうらみがある点にあるものであります但町田市は見事にこの通弊を破り当法人会並びに関係ご当局のご熱意によりまして54年7月町田税務署の設置が実現致しましたことは全国に限られた税務署所在地として行政機能が一段と充実致しました。

今後税務行政進展の要諦は執行機関と当法人会がさながら車の両輪のようにおのおの持場は異っても同じ目的に向い真に一体となって努力精進することが肝要であります。当法人会が広く活用せられ今後法人企業の振興発展に寄与することがきわめて大きいものと確信いたします。



会長式辞

会長 三橋 忠正

本日ここに、宮下東京国税局長殿をはじめ多数のご来賓ご臨席のもとに会員各位のご出席を得て社団法人町田法人会設立並びに法人会創立30周年記念式典を挙行できますことは誠に喜ばしい限りでございます。

当法人会は、昭和25年10月八王子税務署管内の納税協力団体として発足し以来30年、150社の会員から逐次事業を拡大しこのたび社団化の諸要件を備えるに至り、ここに東京国税局長の設立許可を得て社団法人として新たに発足出来ますことは全く喜びにたえぬところであります。又、このたびの社団化につきましては、町田税務署西別府署長殿をはじめご来賓各位の絶大な御支援と関係諸官庁、並びに関係諸団体の平素のご指導ご協力の賜ものと深甚の謝意を表するものであります。なお当会の役員及び会員の方々には創立以来当会の使命を深くご理解下さいまして公私ご多忙の中をご協力いただき特に昨年町田税務署設立以来、社団化推進のため会員増強運動について多大のご尽力をいただき本日の社団法人設立を迎えましたことはご同慶の至りに存じますとともにこの席から有り難くお礼を申し上げます。

ここに社団法人設立の式典に当り私どもは従来の任意団体から、法人格を備えた公益法人に脱皮することによって本事業の重要性を改めて深く認識すると共にその責任の重大さを痛感するものであります。



許可書披露をする 青山 顧問



私どもは心を新たにして納税協力団体として皆様のご期待に応えると共に当地区の特異性を事業活動に加味し魅力ある法人会とすることに一層努力を傾注したいと念願するものであります。

なお本日の記念すべき日に、町田法人会発足30周年を迎え、この間、当法人会活動にご協力をいただいた方々に感謝の意を表したいと存じます。

ご来賓の皆様の変らぬご指導とご支援をお願い申し上げますとともに会員各位の従来にも増してのご協力をお願いいたしまして私の式辞といたします。



式典司会をする
齊藤総務委員長



開会の挨拶をする
石井副会長



経過報告をする
岩沢監事
(社団化推進委員長)

経 過 報 告

社団法人町田法人会設立に到るまでの経過を御報告申し上げます。

当町田法人会は、昭和25年10月終戦後ようやく経済の立直りの見え始めた当時、初代会長で、すでに故人であります平本勝利氏ほか数名の有志に依って設立され、会員数も150社に満ちた小規模の会で発足されたものであります。

それより30年間、2代会長で現在会の顧問であられる、青山孝之氏から、3代会長の三橋忠正氏に継承されて現在は会員数も1620社を有する会と成長いたしてまいりました。

設立以来20数年間、当時の所轄税務署でありました八王子税務署の御指導を戴き乍ら、昭和51年4月、社団化準備特別委員会を設置し、社団法人としての組織更えを計画して、資料の収集等着々と準備を致してまいりました。たまたま昭和54年度中、町田市に税務署が新設されるとの報を得たことから一躍奮起してその準備作業にも一段と熱を増して来た次第であります。

昨年54年5月の定期総会に於ては、万場一致、社団化設立を決定し、ただちに社団化準備特別委員会を発展的解消し、社団化推進委員会を設置して具体的な作業に着手いたしました。待望の町田税務署も54年7月に新設され、新税務署、特に法人部門係官の力強い御指導を戴き乍ら、会員増強運動に就きましても此の作業に並行して行われました。

50数名の増強委員の大活躍によって、現在の1620社、入会率も全法人数の60パーセント弱に到達を見、社団法人としての基盤が確立した次第であります。

この間昭和54年11月には臨時総会を開催、会費の改訂、社団化推進委員会の拡充強化案を決定し、その後10数回に亘る委員会、及び理事会の審議に依り設立準備も完了、55年7月24日、臨時解散総会に引き続き、社団化設立総会を開催、万場一致をもって原案の承認を得てここに社団法人町田法人会の設立をみた次第であります。

その後、認可申請書の作製に就きましては、町田税務署の御指導を戴き、8月11日に認可申請書の提出、8月21日付を以て東京国税局長殿より正式認可の御知らせを戴き、8月25日、東京国税局長室に於て、三橋会長並びに石井・鈴木両副会長、西別府町田税務署長参列のもとに厳粛な授与式を行われ局長殿よりじきじきに栄誉ある許可書を拝受いたしました次第であります。

永年夢にまでみた社団法人町田法人会の設立ではありますが、数年間に亘って、会員及び役員各位並びに町田税務署をはじめ関係諸官庁並びに関係諸団体の温い御支援御指導を重ねて御礼申し上げます。私どもはこの度の社団化の意義を深く認識しこの使命達成に努力することを誓いまして経過の御報告といたします。

来賓祝辞

東京国税局長 宮下 鐵 巳



本日ここに社団法人町田法人会の設立記念式典並びに町田法人会創立30周年記念式典が盛大に挙行されるに当り、お招きいただきお祝いの言葉を申し上げる機会を得ましたことは、私の深く喜びとするところであります。

顧みますと町田法人会は戦後の社会経済の混乱が続いた昭和25年10月申告納税制度の意義を認識された民間有識者の方々がお集りになり、会員 150社をもって設立されました。

以来30年の永きにわたり活発な事業活動を通じて納税道義の高揚と税務意識の普及に尽力され会員の増強と組織の強化に努めてこられました。

その結果今日では、会員数1620社を数える立派な組織に成長され、先般めでたく社団法人としての資格を得られることになりここに輝しい創立30周年を迎えられたのであります。これより町田法人会の社会的地位は一段と向上しその事業活動の地域社会に与える影響力もますます増大していくものと考えられます。

ここに至るまでの歴代会長をはじめ役員の皆様方の並々な御努力と会員各位の御理解に対して深甚なる敬意を表しますとともに永年にわたって事業活動を通じて税務行政に寄せられた皆様方の御協力に対して心から感謝の意を表する次第であります。

さて最近の我が国の経済の動向をみますと、企業の設備投資は底固い動きを続けていますが生産や売上げは国内需要の不振などから増勢鈍化の傾向にありまた激動する国際情勢から今後の経済動向は必ずしも楽観を許さないものと考えられます。

一方我が国の財政は昭和50年度以降、毎年巨額の公債発行に依存せざるを得ない状況が続いており本年度においても歳入の3割以上を公債に依存するという異常な状態となっており財政再建が目下の急務となっていることは皆様すでに御承知のとおりであります。

このため歳出の合理化税制の見直しを含めて盛んな議論が交わされているところであります。このような情勢を背景として国民の税に対する関心は一段と高まり税の公平な負担と執行についての国民の期待と要請はますます強くなるものと考えられます。

申すまでもなく税務行政の使命はいかなる社会経済情勢の下においても税法を正しく執行し適正公平な課税を期することにあり私どもといたしましては一部の悪質な脱税者に対しては厳正に対処する一方指導と相談を通じて納税者の方々が自主的に適正な申告と納税ができるような体制作りを推進し皆様の信頼に応えるべく努力して参る所存であります。

このためには、どうしても法人会をはじめとする関係民間団体の皆様方の一層のご理解とご協力をいただかねばなりません。

幸い町田法人会は30年間培われたゆるぎない伝統の下に立派な組織を確立し活発な事業活動を展開されておられますので私どもといたしましても誠に心強く感じております。

どうか本日の社団法人設立記念式典並びに創立30周年記念式典を契機といたしまして更に充実した活動を展開され従来にも増して税務行政に対する一層の御理解御支援を賜りますようお願いする次第であります。

終りに臨み社団法人町田法人会の限りない御発展と会員の皆様方の御健勝並びに事業のますますの御発展を祈念いたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。



来賓祝辞

町田税務署長

西別府 久

本日ここに社団法人町田法人会設立並びに町田法人会30周年記念式典が盛大に挙行されるにあたりお祝いの言葉を申し上げる機会を得ましたことは私にとってこ

の上ない喜びであり大変光栄に存ずる次第であります。

顧みますと町田法人会は昭和25年10月に誠実な記帳と適正な申告の普及徹底を図ることを目的として町田市内の150社が会員となって発足された団体であります。

以来本年まで30年間会長をはじめ役員、会員の皆様の熱心な会活動により会員数1620社を数えるに至り、質量ともに充実した立派な法人会に発展されました。

この間私どもの税務に深い御理解と暖かい御協力を賜わり、税知識の普及に御尽力いただいた役員をはじめ各支部員ならびに会員の皆様に対しこの席をお借りしまして深く謝意を表する次第でございます。

そしてこのたびは社団法人として新しい第一歩を踏み出されたわけですがここに社団化に至るまでの歴代会長をはじめ役員の皆様方の並々ならぬ御努力と会員各位の御協力に対し深甚なる敬意を表する次第であります。

さて最近の我が国経済の動向を見ますと中東情勢の影響により原油価格の引上げや供給不安等の難しい問題を抱えて前途は必ずしも楽観を許さない状況下にあります。

また財政面では巨額な赤字をかかえ深刻な危機におちいっており財政再建は目下の急務となっております。

このような情勢を背景として税に対する国民の関心は従来にも増して一段と高まり税の公平な負担と執行についての国民の期待と要請はますます強くなってきております。私共税務行政に携わる者といたしましては、このような時代の要請に対応できるよう柔軟で新鮮な感覚をもって皆様の御支援御協力を得ながら適正かつ公平な課税の実現を図り信頼される税務行政の確立に一層努力してまいりたい所存でございます。

幸い町田法人会は積極的に事業活動を展開しておられますので誠に心強く感じているところであります。

社団化を契機といたしまして更に一層充実した法人会活動を推進され従来にも増して税務行政に対する御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに当りまして社団法人町田法人会の限りない発展と会員皆様方の御健勝並びにご事業の御繁栄を心よりお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



来賓祝辞

町田市長

大下勝正

社団法人町田法人会設立並びに町田法人会30周年記念式典にお招きいただき恐縮致しております。平素の市政にご協力をいただき御礼申し上げます。

町田法人会も社団化により脱皮し一層飛躍することでしょう。社団化に尽力された方々のご苦勞をねぎらい感謝致します。

町田市もますます発展しいまや人口30万人になりました。30万という人口は、東北地方を例にとればいくつがある都市の中でも仙台だけです。

この機会に発展への基礎をつくるべく、再開発事業にまい進しています。今後は横浜、新宿につぐ中核都市へと発展させたいと願っています。

町田法人会も社団化されました今、ますますのご協力をお願い申し上げます。

来賓祝辞

八王子都税事務所長

今井寿雄



社団法人町田法人会設立並びに町田法人会30周年記念のお祝いを申し上げます。

一口で30周年といいますが、発足当時の会員数 150社が1620社にもなったわけですから、その間にはいろいろご苦勞もあったことと敬意を表します。

また、30周年と同時に社団化されたことにお祝いを申しあげます。

町田市も人口30万です、いまや東京都の主要都市になりつつあります。その中であって町田法人会もますます今後とも御発展と御活躍を願ってやみません。



来賓祝辞

(財)全国法人会総連合会々長 金原 四郎
(社)東京法人会連合会々長

社団法人町田法人会設立並びに町田法人会創立30周年のおめでたい日を迎え、お慶びを申し上げます。

また、この機会にご挨拶を申し上げることを光栄に存じます。

戦後、賦課制度から申告制度への大改革が行なわれました。制度は変わっても、記入に不慣れなこともあり、申告状態は悪化の一途をたどるばかりで、制度も空文化しつつありました。そこで生れたのが法人会であります。

昭和24、25年頃に申告制度を普及しようと、納税者たちが団体を組織し、税務署がこれを指導し法人会はこうして生れたわけで昨年、今年と創立30周年を迎える法人会が多いのは、ちょうどその頃の設立が多かったためです。

中でも町田法人会は歴史の古い方でしょう。八王子税務署管内には八王子法人会があり一税務署一法人会の規定で町田法人会の社団化はなかなか実現しませんでした。それがこのたびの社団化です。

町田税務署の設立を予測していたかのような町田法人会の活躍に敬服する次第です。これで東京国税局管内46の法人会は全部社団化しました。これは全国国税局の中でも初めてです。

ここまでこられたのも法人会会員皆様の努力があってこそと思います。

30周年を迎えた法人会が多いことは、喜ばしいことです。この30周年は一つの節目、これを機会に広域法人会活動をますます発展させたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

来賓祝辞

町田市商工会々長 細野 英雄

社団法人町田法人会設立並びに町田法人会30周年記念をお慶び申し上げます。

町田法人会は戦後の混乱がおさまらない昭和25年に設立されました。以来30年、時には苦しいときもありました。村や町だった町田に市制がしかれ、町田市もここまで発展してきました。

法人会がここまでこられたのは、創立者の平本さん、前会長の青山さん、そして三橋会長並びに受賞者の方々の多大な努力があったからだと思います。

法人会傘下の企業でも、経済状況の悪い時には倒産寸前の企業もありました。会長はじめに会員の方々の支援協力で倒産が救われたこともあり、その点は感謝しています。

今後も町田の再開発によって発展する企業もあり経営困難に落ちるところも出てくるでしょう。そのための苦勞もあると思いますが、会員の指導、援助によって発展するようお願いしたいと思います。特に三橋会長は20年にわたってご努力されてきました、今後もますますご努力していただくようお願い申し上げます。



式典スナップ



ご 来 賓 席



功勞者代表・謝辞を述べる 鳥海相談役



厳肅盛況を極めた会場



来賓 上部団体・支援団体 法人会役員

功勞者の披露をする
岩崎組織委員長



閉式のことば
鈴木英正副会長

町田法人会の歩み

年 月	概 要	会 員 数
25 . 10	町田法人会創立	150
	初代会長・平本勝利 (資平野屋金物店社長)	
27 . 2	八王子法人会ト合併シ八南法人会ニ名称変更	
29 . 2	八王子法人会ト分離シ町田法人会ニ名称変更	
33 . 10	二代会長・青山孝之 (有青山酒店社長)	200
36 . 8	三代会長・三橋忠正 (有三橋宝永堂社長)	220
44 .	全法連十五周年記念ニ於テ 青山孝之外5名受彰	
45 . 11	町田法人会二十周年記念式典	300
47 .	会員増強委員会発足 岩沢委員長外27名	350
48 . 6	S47 S48) 第1次会員増強	949
49 .	全法連二十周年記念式典 三橋忠正外2名受彰	1,000
51 . 2	役員会ニテ社団法人設立準備委員会発足 渋谷一郎 委員長	
51 . 6	S49 S50 S51) 第3次会員増強 鈴木委員長外50名	1,145
50 .	青色申告制度二十周年記念式典 三橋忠正外4名受彰	
53 . 10	S52 S53) 第5次会員増強 市川委員会外60名	1,444
54 . 7	町田税務署開設	
54 . 7	社団法人設立推進委員長 岩沢正義任命	
55 . 6	S54 S55 S56) 第7次会員増強 鈴木委員長外68名	1,620
55 . 7	町田法人会臨時 (解散) 総会開催	
55 . 7	社団法人町田法人会創立総会開催	
55 . 8	8月21日 社団法人町田法人会許可	
55 . 8	8月27日 社団法人町田法人会登記完了	
55 . 9	9月15日現在 会員数 55%	1,656



開会のごとは

社団法人町田法人会長

三橋 忠正

法人会懸案であった社団化が成り、誠に喜びにたえません。これも今日ご出席いただいた宮下局長ほか、多数の方々のご支援の賜ものと感謝の気持ちでいっぱいです。式典第二部の祝賀会をここに催します。なにもありませんが、ごゆっくりご歓談下さい。



来賓祝辞

三多摩法人会連合会長

野沢 良助

今日、宮下局長ほか多数の方々のご臨席をいただき、かくも盛大な記念式典を挙行されたこと、ご同慶にたえません。考えてみれば、社団化というのは、なかなか大変なことです。現在、全法連傘下には493の法人会があります。8月22日、町田法人会が社団化許可となり、これが全法連傘下では177番目になります。つまり三分の一はまだ社団化されていないということになります。社団化の制度は昭和39年に取り入れたわけですから、17年間かかって177法人しか社団化していないことになり、いかに公益法人会の条件が容易なものでないか、ということなのです。町田法人会は、それを乗り越えてきたわけですから、苦しみも大きかったろうと思います。町田法人会が創立30周年を迎えたというのも驚きですが、その間当地に税務署がなかったことを考え合せると、30年間の活躍はなお、驚きに値すると思います。その意味で、町田税務署設置と同時に社団化が成ったことは、意義深いことと思います。現在、三多摩には32市町村、7つの税務署、7つの法人会があります。一番大きいのが青梅、次いで立川、東村山、八王子、武蔵野、武蔵府中となります。町田の場合は一つの市に一つの税務署となり、法人会活動を考えたとき、これはうらやましい限りです。今後は法人会の見本となるよう願うと同時に、より一層のご発展をお祈りいたします。



来賓祝辞

東京税理士会町田支部長

飯田 義忠

町田法人会の社団化、並びに創立30周年記念にお慶びとお祝いを申しあげます。昨年7月10日に町田税務署が設置され、一年後には法人会が社団化するという偉業に、敬服しています。町田市の2.1ヘクタールの再開発事業も間もなく完成いたします。毎年一万人の人口増をしている町田にあって、加入会員数60パーセントの町田法人会ほんとうに素晴らしいと思います。私たち税理士会も、法人会発展のため大いにご支援申し上げる所存であると共に社団法人町田法人会の益々ご発展をお祈り申し上げます。(ご挨拶はいずれも要旨、広報部でまとめました)

祝賀会スナップ



開会の挨拶をする 三橋会長



祝賀会司会をする 杉浦青年部会長



来賓祝辞 三多摩法人会連合会会長 野沢良助殿



来賓祝辞 東京税理士会町田支部支部長 飯田義忠殿



乾杯 東京国税局直税部長 水口 衛殿



中々音頭をとる元八王子税務署長 加来 學殿



祝電披露をする 村田塚地区会長



閉会の挨拶をする 古閑町田北地区会長

祝賀会スナップ

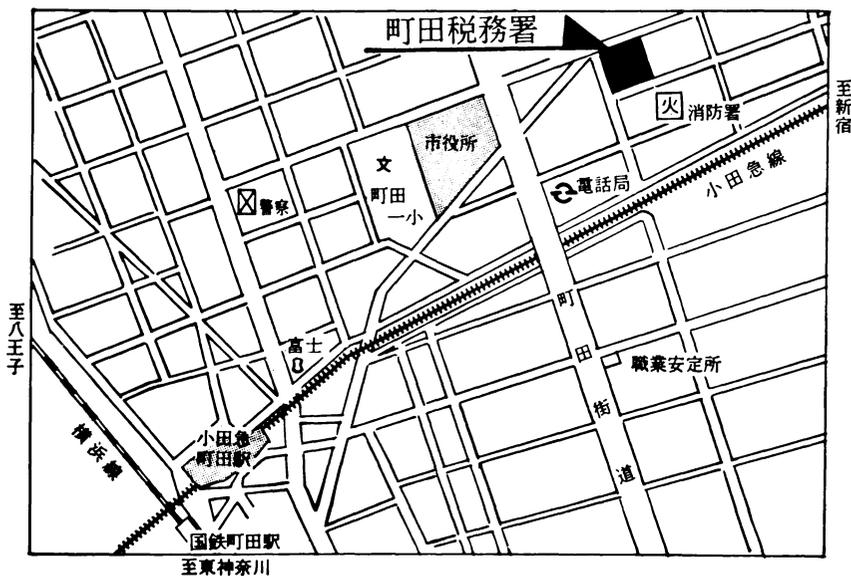


お 知 ら せ

“町田税務署は新庁舎へ移転しました”

町田税務署の新庁舎が完成しましたので、11月4日(火)から11月8日(土)の間に移転し、11月10日(月)から新庁舎で執務を開始いたしました。

移転の前後は何かと御不便をおかけいたしました但今後ともよろしくお願いいたします。



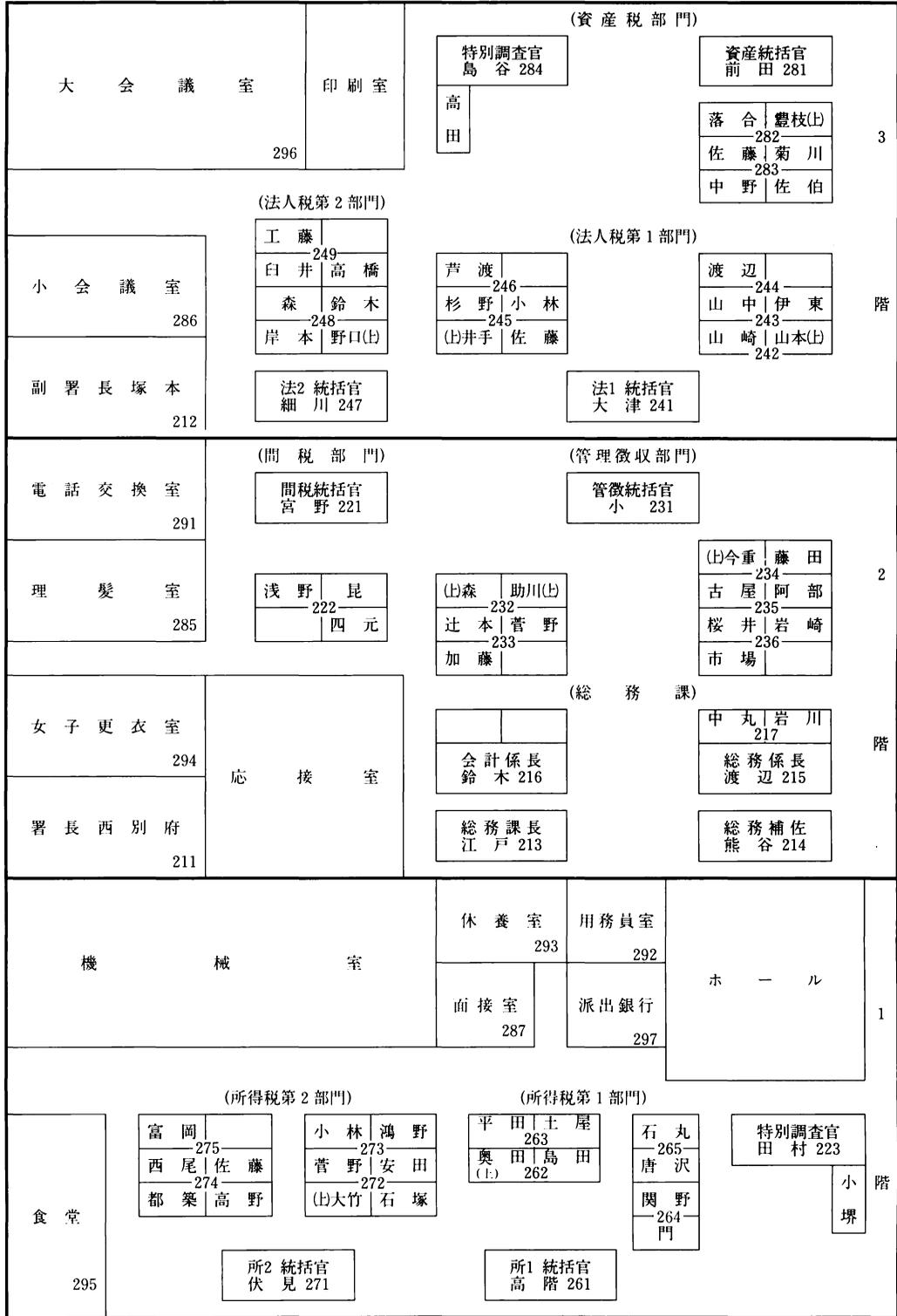
新庁舎所在地：町田市中町3-3-6

電話番号：0427-28-7211

交通機関：○国鉄町田駅下車徒歩13分

○小田急線町田駅下車徒歩10分

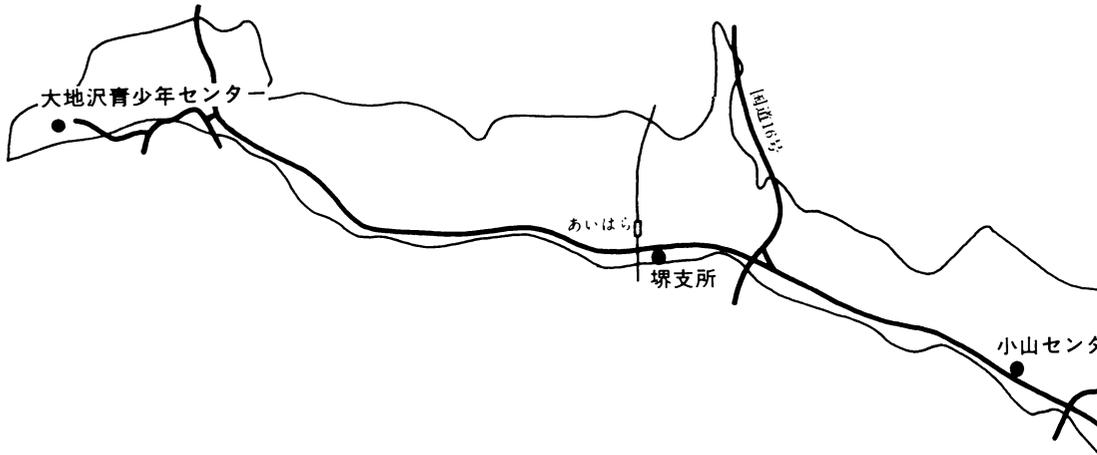
町田税務署配席図



東京税理士会町田支部会員名簿

氏 名	郵便番号	事 務 所	電 話
阿 部 浅 香	194	町田市本曾町332の3	0427(22)1502
安 部 泰 弘	"	" 南大谷1402	" (26)2811
天 野 竹 松	194-01	" 能ヶ谷町545	" (35)3223
今 村 了	"	" 鶴川4の25の2	" (35)5288
井 上 進	194	" 本町田3450	
五十嵐 通 順	"	" 小川1の27の1	" (96)6643
飯 島 賢 二	"	" つくし野1の21の15	" (95)5207
飯 田 義 忠	"	" 中町2の9の7	" (22)5283
飯 野 忠 行	"	" 高ヶ坂1158の4	" (22)0285
石 川 啓 子	"	" 中町1の23の15	" (22)6055
岩 瀬 要	"	" 本曾町372 都営20-5	" (22)9414
岩 堀 洋 三	"	" 本曾町1210イ13住宅311号	" (91)7204
印 東 篤 誼	"	" 玉川学園4の20の24	" (25)3263
宇 多 憲	"	" 本町田3539 藤の台団地2-42-404	" (27)9142
上 田 宏	"	" つくし野1の16の3	" (95)2261
植 木 幹 夫	"	" 南成瀬1の15の12	" (26)8589
小笠原 一 憲	"	" 森野1の6の14 早川事務所内	" (23)3035
大 沢 一 郎	"	" 高ヶ坂242の80	" (28)1560
大 谷 善 晴	"	" 金森1924の8	" (96)1547
大 野 浩	"	" 旭町3の18の3	" (23)2501
岡 本 宗 男	"	" 本町田2533 公社住宅ト7-309	" (92)1262
奥 田 正 子	"	" 旭町1の14の13 マコトマンション209号	" (25)5362
奥 村 友 康	"	" 中町1の16の13 奥村事務所内	" (27)2788
上 西 嶋	"	" 原町田6の28の15	" (23)2101
刈 間 達 昌	"	" 中町1の30の8 菅井町田ビル3階	" (22)9310
川 鍋 鶴 男	194-01	" 鶴川6の2の2	" (35)1851
川 野 重 則	194	" 玉川学園7の8の7	" (23)4726
宜 保 之 則	"	" 玉川学園2の16の4	" (32)8600
岸 本 栄 一	"	" 南大谷1295	" (23)4127
久保田 博	194-01	" 金井町2744の17	" (35)1914
熊 谷 喜 一郎	194	" 原町田3の11の12	" (25)3331
熊 沢 武	"	" 本町田2938	" (23)4403
熊 沢 正 雄	"	" 旭町1の17	" (22)3149
熊 沢 良 夫	"	" 森野1の18の10	" (22)2439
小 林 久 二 雄	194-01	" 三輪町1622の4	044(988)7459
小 林 敬 司	"	" 金井町3133 藤の台団地3-21-503	0427(28)4304
小 林 進	194	" 原町田4の23の2	" (28)5255
五味 究 自	194-01	" 忠生2の15の62	" (93)4380
佐々木 嘉 秋	194	" 高ヶ坂52の4	" (25)0494
佐 藤 俊 夫	194-01	" 山崎町2200 2-13-401	" (91)9402

氏名	郵便番号	事務所	電話
志田武彦	194	町田市高ヶ坂1420 いわと荘2-6	0427(26)1521
下村慧	"	" 玉川学園3の7の15	" (25)9228
志茂邦子	194-02	" 忠生3の9の31	" (91)1501
清水弘一	194	" 金森1793	" (96)7165
渋谷俊夫	"	" 森野1の13の19	" (22)4343
渋谷康雄	"	" 成瀬4398の1	" (26)8337
白石博祥	"	" 木曾町1075の1 大和マンション202号	" (91)3833
杉之尾洋	"	" 玉川学園4の9の25	" (32)9631
田中修一	"	" 金森1224	" (96)4983
田村菊雄	194-01	" 鶴川1の27の12	" (34)1364
竹田俊一	194	" 原町田3の3の25 土方事務所内	" (22)3731
武井克己	194-02	" 忠生3の5の16	" (92)0855
田中光男	194-01	" 鶴川2の15の6の202	" (35)6542
谷田英男	194	" 原町田3の4 町商会館	" (26)7551
中野千秋	194-01	" 鶴川6の9の3 7-405	" (35)9904
中込勝子	194	" 木曾町449の1	" (22)8015
長井紘	"	" 成瀬台4の14の18	" (25)5836
長崎真人	"	" 中町1の30の4	" (26)6582
西村星朗	"	" 南つくし野2の9の19	" (95)5270
沼舘末治	"	" 本町田3022の28	" (25)4616
浜田建次	"	" 旭町2の12の2	" (26)2444
早川昇	"	" 森野1の6の14	" (23)7111
林勇	"	" 木曾町1880の8	" (91)4584
東正巳	"	" 玉川学園7の21の13	" (25)9132
引田徹	"	" 金森301	" (27)2579
土方周利	"	" 原町田3の3の25	" (22)3731
広島昇	"	" 中町1の6の2	" (25)0323
福本四郎	"	" 本町田2048の25 金森437	" (26)2441
堀泰一郎	"	" 金森437	" (23)3517
松沢太平	194-01	" 山崎町2200 山崎団地2-7-507	" (91)2829
宮崎義雄	194	" 本町田3539 藤の台団地2-16-304	" (27)8577
宮崎義治	"	" つくし野2の27の17	" (95)1341
望月昇	"	" 木曾町987の1	" (92)0231
森久男	194-01	" 山崎町1273	" (93)4669
山内芳	194	" 中町1の26の10 山内錬哉事務所内	" (26)7610
山内錬哉	"	" 中町1の26の10	" (26)7610
山本善三郎	"	" 原町田2の25の18	" (26)5967
山岸博	"	" 旭町2の12の2 浜田建次事務所内	" (26)2444
横内喜代美	194-01	" 能ヶ谷町158	" (34)5256
吉田修三	194-02	" 忠生4の5の7	" (91)2530
和田精二	194	" 木曾町1524	" (93)4063



中心市街地



町田市 各施設の所在地



工事中の町田税務署



再開発事業がすすむ
町田市表玄関の一部



編集後記

社団法人町田法人会設立並びに創立30周年記念特集号（通刊29号）社団法人1号をお届け致します。

誌面をご覧になって、おわかりのように、本号は同時に、社団化記念特集号となっています。

記念式典の内容は誌面でつぶさにご報告申しあげましたが、広報委員長としてひとことこの欄をお借りして式典の模様をご報告させていただきます。

当日は台風19号が日本を駆け抜けた翌日、まさに台風一過の爽やかな秋晴れの一日でした。出席者は、ご来賓の方々を含めて300余名、午後2時から始まった式典は、斉藤総務委員長の司会で荘重に進められ、約1時間で終了。第二部の祝賀会へと引き継がれました。

一部、二部を通して感じたことは、やはり30年の歴史の重みといったものでしょうか。ご来賓の方のご祝辞にも、この30年を振り返

えるお話があり、会員の方々もあらためて、往時のことを思いおこしてみたことと思います。祝賀会の会場でもここここで、昔話に花が咲いていたようです、5時の中メのあとも歓談に興じる会員の姿が多数見受けられたのが印象的でした。

さて、記念特集号ということで、本来ならばご挨拶いただいた方すべてのおことばを掲載しなければいけないところですが、誌面の都合もあり、一部割愛させていただいたことをお詫び申し上げます。また、特集号の発行にあたり、広報委員各位並びに事務局にはいろいろとご苦勞をいただき、お礼申し上げます。

今後、この会報になにかとご要望がございましたら、地区委員を通してご用命くださるようお願い致します。

広報委員長 井之上哲夫

広報委員名

井之上	哲	夫
秋元		馨
藤田	義	徳
小川	量	司
松村	邦	治
木下	公	福
新井		実
杉浦	信	男
若林	忠	次